

◎障害者医療の経費

心身障害者医療助成事業

【 保険年金課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 療育手帳A1～B1、身体障害者手帳1～3級と4級の一部、精神福祉手帳の1～2級を持つ障害者等

意図 障害者の医療費を助成することにより、障害者の保健の向上に寄与し、福祉の増進を図るため。

効果 常時医療を必要とすることの多い障害者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

【事業の内容】

(1) 心身障害者医療助成事業

- ・療育手帳A1～B1、身体障害者手帳1～3級と4級の一部、精神福祉手帳1～2級を持つ障害者(一部所得制限あり)に、食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を除く健康保険自己負担分を全額助成した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
614,908	651,408	633,883		17,525

主な支出内訳

- ・心身障害者医療助成事業

臨時的任用職員賃金	227
医療助成事務用消耗品費	97
受診証印刷製本費	23
診療報酬明細書印刷製本費	30
審査支払手数料	6,845
医療費助成システム改修委託料	13,808
医療費扶助	612,853

主な特定財源

- ・国県支出金 183,965

助成件数

一般保険分	延 55,388件	月平均対象者 2,338人
後期高齢者医療・老人保健医療分	延 61,350件	月平均対象者 1,839人

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-51 心身障害者医療助成事業 □支援部門									
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	0032 心身障害者医療助成事業								
主管課	保険年金課			関連課	障害者福祉課					
分野名	健康福祉									
目標 (目標値)	心身障害者の保健の向上と福祉の増進									
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考					
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日					
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯						
運営資源 状 況	決算値	633,883千円	571,063千円	489,646千円						
	(国・県)	183,965千円	188,201千円	158,877千円						
	(負担金等)	17,448千円	13,100千円	17,598千円						
	(一般財源)	432,470千円	369,762千円	313,171千円						
	人員配置数	1.5人	0.9人	0.9人						
	人件費	15,018千円	9,114千円	8,618千円						
事務事業 運営経費	協働の パートナー									
	総事業費	648,901千円	580,177千円	498,264千円	H20対象者:4,271人					
	市民1人当 りの経費	3,677円	3,298円	2,846円						
	対象者1人 当りの経費	151,932円	140,649円	125,983円						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価										
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※					
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)				
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)			
		目標値								
		実績値								
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)			
		目標値								
		実績値								
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)			
		目標値								
		実績値								
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)			
		目標値								
		実績値								
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)										
団体名	横浜市	川崎市	横須賀市	平塚市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	
中度身体障害者を対象	×	×	×	○	○	○	×	×	×	
中度知的障害者を対象	×	×	×	○	○	○	×	×	×	
精神障害者を対象	×	×	×	○	○	○	×	○	×	
相模原市	三浦市	秦野市	厚木市	大和市	伊勢原市	海老名市	座間市	南足柄市	綾瀬市	
×	×	×	○	×	×	○	○	×	×	
×	×	×	○	×	×	○	○	×	×	
○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 平成20年10月から神奈川県医療費助成改正があり、現時点では県基準の一部負担金の導入、65歳新規制限を実施しないが、補助金の交付を受けるため把握の必要があり、事務が煩雑になった。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 後期高齢者医療制度改正や神奈川県医療費助成改正への対応について、神奈川県や他市町村と協議をし、事務を行った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ①事業費の抑制 ②神奈川県の医療費助成改正に伴い、一部負担金の導入・65歳新規制限・所得制限(H21.10実施)を実施する・しないは市町村判断になり、神奈川県内で統一されていた重度医療費助成に差が生じることとなった。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ①レセプト点検等の医療費の適正化、疾病予防施策、健康増進施策等の実施 ②近隣市町村の状況を把握しながら、市としての対応を検討していく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	障害のある方や障害のある方の属する世帯には、所得が低い世帯もあり、経済的負担を緩和させるためにも制度は必要である。				
担当課長氏名:		保険年金課長 相澤 昭弘			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	障害者に対する施策を充実し、推進していくうえで、今後とも必要な事業である。				
担当部名	健康福祉部	部長名	石井 和子		